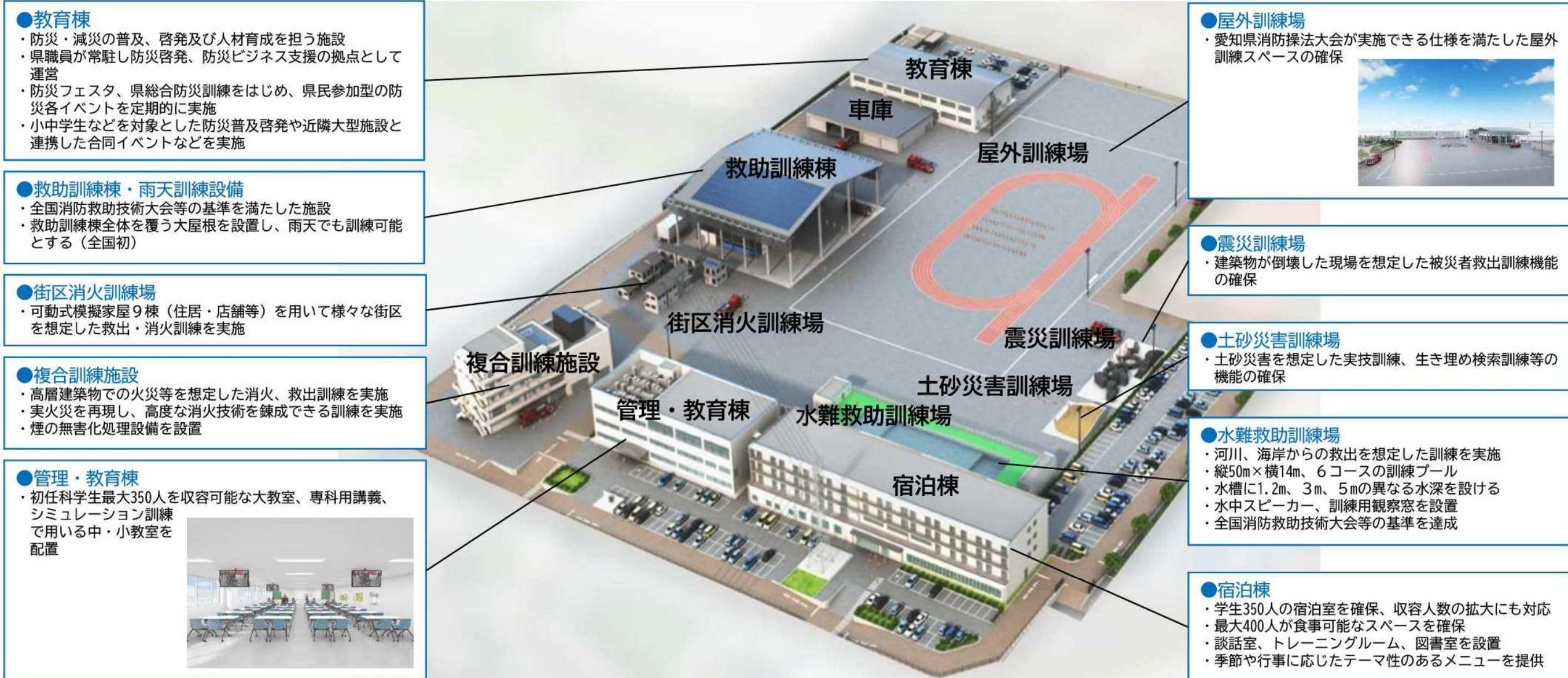


愛知県基幹的広域防災拠点（第1期：消防学校）

整備コンセプト 『名古屋市との共同設置による全国初の消防学校教育』

運用方針：全県一貫した教育訓練による県内消防力の強化、地域への施設の開放など開かれた消防学校として運営

整備イメージ ※ 整備イメージは、あいち防災パートナーからの事業提案に基づく現時点でのイメージであり、今後、変更される場合があります。



【維持管理】

・不具合が発生する前に定期的なサイクルで交換等を行う予防保全を基本とした、合理的な点検・保守・修繕を実施

<拠点運用時の中核施設としての活用>

- 管理・教育棟に、オペレーションルームを設置し、本拠点における各災害対応業務の統括を行う機能として活用
- 管理・教育棟は免震構造とし、県災害対策本部の代替機能、各防災関係機関の活動スペースとして活用
- 宿泊棟において、拠点で活動する要員（県本部機能、物流拠点、DMAT本部の各要員）350人の宿泊室を確保（廊下等を活用し、更なる要員の受け入れを目指す）
- 屋外訓練場を、消防応援部隊のベースキャンプとして活用
- 教育棟を広域搬送拠点臨時医療施設（SCU）として活用し、早期に体制を確立
- 1週間の電力を確保する自家発電機、2週間の飲料水・生活用水の確保、県独自の次世代高度情報通信、公衆無線LANを設置し、耐災害性を備えたライフラインを整備（拠点運用時の活用を想定した再生可能エネルギーを導入）

<拠点運用時イメージ>



愛知県基幹的広域防災拠点（第2期：防災公園）

整備コンセプト 『憩い・交流の場やスポーツ等の場となる防災公園』

運用方針：賑わいの創出により地域を活性化するとともに、基幹的広域防災拠点機能を有する防災公園として運用

整備イメージ ※ 県が要求水準書で示している内容をイメージ化したものであり、全体のパース、各施設の外観デザインや詳細な仕様は、PFI事業者による提案に基づき協議・決定する。

●舗装広場

- ・テニス、バスケット等に利用



【写真：東京都しながわ中央公園】

支援物資エリア (4.7ha)

支援部隊エリア (8.4ha)

●多目的広場①②

- ・サッカー、野球場等



【写真：大阪府服部緑地】

多目的広場②

●屋内運動施設

- ・インドアテニス等が可能な施設
- ・天候を問わず運動や防災のイベントに活用可能

【災害時】

- ・県内全域の物資をカバーし、雨天時に物資の集積に対応可能、屋内外でフォークリフトが円滑に走行可能な広域物資輸送拠点
- ・備蓄食料等を保管する備蓄倉庫



【写真：岩手産業文化センター（ツガワ未来館アピオ）】

舗装広場

屋内運動施設

人工芝広場

芝生広場

神明公園 整備対象外 (1.5ha)

●芝生広場

- ・多目的広場①②と連携してアップフィールドとしての活用
- ・公園に訪れたファミリー層の多様なレクリエーションの受け皿



【写真：静岡県藤枝総合運動公園】

●人工芝広場

- ・アウトドアフィットネスなどの健康づくり・癒しの場
- ・防災イベント等の屋外イベント

【災害時】

- ・物資の仮置き場や輸送トラックの待機場所などとして活用



【写真：静岡県浜名湖ガーデンパーク】

豊山町エリア (避難所・賑わい施設)

消防学校エリア (第1期)

●神明公園

- ・デイキャンプ
- ・サバイバルキャンプ等の防災イベント
- ※現況の機能（プレイロット、健康器具、駐車場等）を代替。

【災害時】

- ・救出・救助部隊、TEC-FORCE のベースキャンプ



【写真：神明公園】

豊山町道52号線

豊山町道117号線